

# 機器分析技術研究会（オンライン）参加報告

工作部門 機械加工技術班 林 祐太

## 1.はじめに（目的等）

本研究会は主に分析機器を使用している技術系職員が技術研究発表、討論を通じて技術の研鑽、向上を図ることを目的として毎年全国各地の大学等において開催されている。今年度はオンサイトとオンラインのハイブリッド形式で開催されており、今年度、広島大学で開催する実験・実習技術研究会と同様にオンラインでポスター発表が開催されるため、ポスター発表担当チームとして情報収集等を目的に参加した。

## 2.期間・場所

期間：2022年9月1日～2022年9月2日（2日間）

場所：オンライン参加（ハイブリッド開催：オンサイトは大阪大学）

## 3.参加者等

参加登録：260名（広島大学技術職員 4名）

## 4.研修内容

主な内容は特別講演・ポスター発表・口頭発表が実施された。

ポスター発表：「oVice」というサービスを利用して、51件の発表が行われた。

## 5.まとめと感想

今回の研究会はハイブリッド形式で開催されており、オンラインを選び参加した。研究会中に日程調整の難しい打合せ等の業務があったが、見れるタイミングで情報の収集に当たることができ、オンライン参加の良さを感じた。

オンラインでの研究会参加は初めてではないが、今までは口頭発表形式で限られた時間内での質問しかできず、得られる情報が絞られるように感じていたが、今回のポスター発表では、様々な意見交換が行われており、3月に開催する実験・実習技術研究会でのポスター発表も効果的な情報交換の場にしていけるよう準備を進めたいと考えている。

また、機械加工を専門としており、本研究会（分析技術）とはあまり関係ないと考えていたが、教員や学生に依頼されて製作しているものがどのような形でデータ取得されているのかなど、知っているのと役立ちそうな内容の発表を聞くことができ、今後の業務内でも生かせる経験ができた。